

# 建築研究所ニュース



平成 22 年 9 月 8 日

## 50 回目の「国際地震工学通年研修」が修了

### 日本の地震・津波防災を習得した研修生 22 名が大臣表敬

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上の地震国から若い研究者や技術者を招き、地震学・地震工学・津波に関する「国際地震工学研修」を国際協力機構（JICA）及び政策研究大学院大学（GRIPS）と連携・協力して行っており、国際協力・技術援助の分野で高い評価を頂いております。この研修は1960年に東京大学で第1回研修が行われて以来、第2回研修の途中から建築研究所が担当し、今回で50回という節目を迎えました。

今回の13ヶ国22名の研修生は、昨年10月に開講した「第50回国際地震工学通年研修」を修了し、全員、GRIPSによる修士号学位を得て、無事帰国することになりました。50年間の国際地震工学研修の修了生は、今回を含め全体で96ヶ国1,481名になります。

9月2日に前原国土交通大臣のもとへ22名の研修生が表敬訪問を行いました。大臣から研修生に対して「本研修が母国の防災対策の推進に役立つことと、今後日本との交流の架け橋となっていただくことを皆さんに期待します。」との言葉をいただきました。

今回修了する研修生のうち、一昨年5月の四川大地震により甚大な被害の発生した中国から参加したリーさん（中国地震ネットワークセンター）は、「日本での経験及び日本で習得した知識や技術を活かし、帰国後必ず私達の職務に活かせるものと確信しています」と語っています。

なお、今後以下の予定が組まれており、現在研修生はウェブで公表する予定の修士論文の概要をまとめているところで、9月18日に帰国する予定です。

#### ・学位記授与式

日時：平成 22 年 9 月 16 日（木） 15：00～16：30

場所：政策研究大学院大学 想海樓ホール

（東京都港区六本木 7-22-1 TEL03-6439-6000）

・閉講式（第50回国際地震工学通年研修）

日時：平成22年9月17日（金）10：45～11：30

場所：建築研究所 講堂(2F)（つくば市立原1 Tel029-864-0678）



<参考：研修生の出身国名（13ヶ国=22名）>

アルジェリア、中国（2名）、コロンビア、エルサルバドル(3名)、  
フィジー、インドネシア(3名)、ネパール、ニカラグア、マレーシア(3名)、  
ミャンマー、パキスタン、ペルー(3名)、フィリピン



**（内容及び取材の問合せ先）**

独立行政法人建築研究所  
所属 国際地震工学センター  
管理室長

氏名 黒澤 肇

電話 029-879-0678(直通)

E-mail [kurosawa@kenken.go.jp](mailto:kurosawa@kenken.go.jp)

ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。